

「北海道マリンビジョン」のモデル地域選定について



北海道開発局 農業水産部 水産課

北海道開発局では、「北海道マリンビジョン」の実現に向け、新たに策定された「地域マリンビジョン」の中から、独創性・先駆性が認められ、他地域のモデルとして見込める地域を“モデル地域”として7地域を選定しました。

【新たに選定した7地域】

モデル地域①「積丹地域マリンビジョン」

～官民連携の“輪と力”を活かした海業による地方創生～

【地域の将来像】

官民連携による海業の振興とブルーカーボンの推進

【取組内容】

積丹半島の景勝地やウニのブランド力を生かしつつ、観光客の滞在性向上や水産物の付加価値化を目指し、水産加工・物販・飲食・体験を統合した海業交流拠点の整備を官民連携で進めています。

また、ウニ殻肥料を活用した循環型藻場造成やブルーカーボンによるCO₂削減の取り組みも実施しています。



モデル地域②「奥尻地域マリンビジョン」

～宝の島「イクシュン・シリ」に海のキセキを探しに行こう～

【地域の将来像】

産・学・官・民の協働で行う漁村地域の活性化

【取組内容】

離島特有のエネルギー供給コストの高さを改善するため、奥尻町が策定した再生エネルギー導入計画を活用し、島全体の脱炭素化を推進。漁港での再生エネルギー活用によるコストを低減し、Jブルーカーボンクレジット認証等による脱炭素社会の実現に取り組んでいます。



藻類養殖によるブルーカーボンプロジェクト
「サスティナブル・アイランド奥尻」

モデル地域③「厚岸地域マリンビジョン」

～新時代の水産業を目指して～

【地域の将来像】

水産業を核とした地域づくり

【取組内容】

厚岸水産物のブランド強化、ICTを活用した衛生管理体制や増養殖体制の構築を進め、省人化・省力化と安定的な生産活動を両立。ブランド価値向上を通じ、広域的にも応用可能な取り組みを進めています。



ブランドをPRするポスター

モデル地域④「根室地域(落石地区)マリンビジョン」

～独自の自然環境・景観と共生した漁業と暮らしの再構築～

【地域の将来像】

未来へつなぐ漁村づくり

【取組内容】

水産資源の減少や人口減少を背景にネイチャークルーズや漁業体験などの体験型観光を強化。SNSを活用した水産物のブランド化や、廃船再利用による宿泊施設の整備など、新たな観光価値創出を進めています。



ネイチャークルーズ

モデル地域⑤「根室地域(歯舞地区)マリンビジョン」

～最東端の海からのメッセージ～

【地域の将来像】

海業を核とした漁村地域づくり

【取組内容】

衛生管理型市場・防災機能、海業支援機能などを兼ね備えた歯舞漁業協同組合新施設の活用を進める一方で、通過型観光から滞在型への転換を目指し、宿泊環境の整備を進行。また、コンブ漁の担い手不足を補う学生インターンの受け入れ、将来担い手確保に取り組んでいます。



昆布漁業体験型インターンシップ

モデル地域⑥「ウトロ地域マリンビジョン」

～丸ごと感じて!! 海トロの恵み～

【地域の将来像】

漁業と観光の相乗効果

【取組内容】

サケ・マス資源の維持増大に向けた人工ふ化増殖事業の強化、自然産卵環境の保全と拡大、釣ルール普及を推進。知床世界遺産の玄関口に位置している強みを活かし、知床ブランドを活かしたPRに取り組んでいます。



モデル地域⑦「サロマ湖地域マリンビジョン」

～サロマ湖自然環境と共生する漁業～

【地域の将来像】

適切な資源管理と地域連携

【取組内容と選定理由】

ICT観測ブイを活用し、湖内の環境データを蓄積。専門機関との連携強化により環境変動に対応した持続的な漁業生産体制の構築を進めています。



ICT観測ブイ



観測データ

以上の7地域は、地域特性を生かしながら未来につながる漁村づくりを進める先駆的な取り組みとして高く評価され、モデル地域に選定されました。